

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

宮沢湖・メッツアビレッジオープン

入場料なしで自由に散策できます

宮沢湖畔にメッツアビレッジが9日オープンしました。このゾーンは、誰でも自由に入れて遊べるゾーンで、お弁当をもって湖畔でゆっくりすることもできます。(開園時間10時～21時外は閉鎖)メッツアビレッジには、レストランやショップが

たくさん並び、カヌー体験もできる場所やイベント広場もあります。飯能駅、東飯能駅からシャトルバス(大人200円、子ども100円)も運行しています。一方、自動車の駐車料金は、時間貸3時間以上の場合、平日1800円、土日祝

3000円と高めで、利用者もビックリした様子でした。

歩いて行ってみよう

宮沢湖周辺からは、多くの遊歩道が整備されています。

ハイキングが好きなある70代の女性は、「ハイキング仲間と中山から遊歩道を歩いて、メッツアに行くと、2時間ほどゆっくりして、高麗峠から巾着田に下りた。とてもいいコースだった」と喜んでいました。買い物やワークショップ、夜間のライトアップなどのイベントを楽しみにされている方も多いようですが、自由に散策できる公園としても魅力があるようです。

飯能市も1億5000万円の負担金を出して、



自由に通れる遊歩道(メッツア内は10~21時)

緊急 憲法学習会

11月23日(金・勤労感謝の日)
午前9時30分～12時
会場：富士見公民館(集会室)
講演：大久保賢一氏(弁護士)
安倍「改憲」を一緒に考えましょう。

日本共産党大演説会

11月25日(日)午後6時30分開場
会場：所沢ミュージアムホール
弁士 田村智子(党副委員長)
伊藤岳(参議院予定候補)
～改憲・消費税・原発問題など...
国民の疑問にしっかり答えます。



新日本婦人の会飯能支部と飯能市平和委員会は、飯能市が検討している「平和都市宣言」について、核兵器廃絶を盛り込むよう求めて大久保勝市長と懇談しました。

『非核』を入れた宣言に 市民団体が市長に要請

国連で核兵器禁止条約が採択され、各国で署名が始まっていますが、現在、署名国は69、批准国は19となり、発効に向けた流れは揺るぎないものとなっています。

一方、日米両政府は、軍事力増強をすすめるとともに、横田基地など米軍の基地機能強化をすすめています。

飯能市は、米軍・横田基地や自衛隊人間基地から10km圏内にあり、平和を守り、市民の命と安全

を守ることは重要な課題となっています。

大久保市長は、昨年9月の滝沢修市議の「核兵器をなくすことは世界の世論で、大きな流れになっている。核禁止条約が採択された中で、飯能市でも非核平和都市宣言を」との質問に、「異論はない。何よりも私も以前から核の恐怖というのは日本人が一番知っている」と答弁。今年6月議会の栗原義幸市議の質問には、「平和宣言というのは、世界に唯一被爆した日本国として、国民として、しっかりと積極的にやるべきと思っている。今年度中には制定したい」と答弁しています。

県内では、多くの自治体が「非核」を盛り込んだ「平和都市宣言」を制定しています。

飯能市も、核兵器廃絶と世界の軍縮を求める大きな流れに沿って、「非核平和都市宣言」を高めるかに宣言することを強く要望しました。

大久保市長は、「平和は全ての思いを網羅している。私の思いとして、3月議会には宣言していきたい」と答えました。

波紋

こんなことが許されるのなら市議会も監査委員も必要ないのではないかと思っています。

割岩橋観光トイレの改修工事の予算を使って、まったく別の場所に大河原観光トイレをつくってしまったことです。監査委員は、この問題に対する住民監査請求が請求要件を欠いているとして、門前払いにしました。問題は門前払いにしながら、この予算の勝手な変更を違法または認められない、議会の議決権を侵害しているとはいえないなどと市の「詐欺」行為を積極的に弁護していることです。

個所付けをした予算を何に使ってもいいなどというものはありません。選挙のどさくさに紛れて、予算がなで別のものに使われてしまったのか。監査委員にはその問題点をあきらかにする責任があります。これでは予算あつて予算なし、監査委員あつて監査なしです。この監査委員への質問をひかえるという市議会の申し合わせがあるというのもおかしい話です。

核兵器廃絶は世界の願い

ICAN共同代表山崎さんの講演を聞いて

国連での核兵器禁止条約採択に貢献し、ノーベル平和賞を受賞したICANの山崎哲(ヒトスボード)さんの講演を聞いてきたので紹介します。

山崎さんは、「ノーベル平和賞の受賞は、勇気を持って自らの体験を語り運動を切り開いてくれた広島・長崎の被爆者の方々のたたえるものであり、世界中の核実験の被害者に向けられた賞で

もありません」と切り出しました。

山崎さんが所属する日本のNGOピースボートは、2008年以来、広島・長崎の被爆者の方々と船で世界を回り、各地で証言する活動を「おびるプロジェクト」として続けています。2017年までに170人を越す被爆者の方々と一緒に旅してきました。

「13歳の時に広島で被爆した女性は、黒こげで髪の毛が逆立ち、飛び出した目玉を手で押さえながら逃げまどう人々の姿を今も記憶している。

いま、存命の約16万人の被爆者のうち、かなり多くの人たちが人前で、

あるいは家族にも原爆の体験を話したことがないという。それでも、自ら老いを感じるなかで少しづつ語っていきたくと考へて、証言の旅で世界各地を回ってきた。世界中で大きな感動を持って受け入れられている。日本では平和教育が年々弱まっているようだが、それと

は対照的に、世界各国の若者たち、自治体の職員や外交官らが熱心に被爆者に質問をぶつける場面に接してきた。ICANの運動のなかで、ピースボートはこうした船旅を通じて核兵器の恐ろしさや人々に伝え、核兵器の非人道性に対する認識を広めるという面で貢献

した。そのことが、核兵器禁止条約の成立と、そのなかに『ヒバクシャ』という言葉と核兵器の非人道性が鋭く刻まれたことにつながったという自負がある。2017年の条約をもって核兵器は禁止された。次なる課題は、禁止された核兵器を廃絶することだ。やれば必ずできる」と訴えました。

日本政府の二枚舌

また、日本政府について、「被爆国として核兵器廃絶を訴えて、被爆者が世界各国で証言活動をするのを政府は後押しする一方で、核兵器禁止条約には賛成せず核兵器の先制使用すら必要という立場である」というのは、二枚舌どころか二重人格ともいうべき姿勢で世界の酷評をかかっている。

引き続き『ヒバクシャ国際署名』の取り組みや、国内全自治体の9割を越す1708都市(昨年12月)が平和首長会議に加盟しているの、これらが意見書等のかたちで政府に声を上げれば大きな力になる。やればできる。ぜひ、「一緒に!」と呼びかけました。

市議会議員・金子敏江

街角イベント情報

飯能ごきげん体操普及講座

日時・11月22日(木) 11時00分(10時30分受付)
会場・市民活動センター
申し込み不要。(問い合わせは市役所「介護福祉課」とまり木コンサート(希望をつなぐ道しるべ)
日時・11月24日(土) 開演13時30分(開場12時30分)
場所・市民会館 チケット999円(全席自由)
主催・飯能音楽福祉交流会(問い合わせは0905530239)

3【和田】
飯能市・日高市第4回市民フォーラム「在宅医療」知ってますか?家で最後まで療養したい人に

日時・12月1日(土) 13時30分~16時00分(受付13時)
会場・市民会館小ホール 定員・300人
申し込み・問い合わせ(飯能市「基幹型地域包括センター」)



南後援会で楽しい芋煮会



日本共産党飯能南後援会は11日、後援会員の自宅をお借りし、滝沢議員も参加して芋煮会で交流しました。山形の米沢出身の後援会員に朝から準備をして本場の芋煮を作ってもらいました。参加者は「美味しい、美味しい」と言いながらお替りもして本場の味を堪能しました。懇談の中では芋煮の作り方も教えてもらいました。また、沖繩三線、フルート、オカリナの演奏もあり、あつという間に楽しい2時間の芋煮会を終了しました。参加者からは「楽しかった。またやって欲しい」との声が多数ありました。



5~6月ごろ、白い小さな花が額紫陽花の様に上向きに咲き、小さな花の数だけ実がなり、晩秋に赤く熟した実は重さで房状に垂れ下がります。赤い真珠の様に光った実は目立つ事から、庭木としても人気があり、実は果実酒や、大根等の漬物の色付け、又は衣類の染料としても使われ、ポリフェノールやビタミンCが多い事から昔はマタギが疲労回復の食材として使っていた様です。

一粒口に入れましたが、少し酸味があり美味しいと言っ程ではありません。犬は美味そうに食べたので犬の食感としては不味く無いのかも知れません。

茨苺又は蒲染(ガマズミ)